

絶版輸入車 カタログギャラリー

ときどきふわっと湧いてくる、遠い昔の淡いできごと。
その片隅にいつもいる、思い出のあのクルマ……
懐かしの名車たちを、当時のカタログで振り返ります。

vol.04

VOLKSWAGEN GOLF



計算し尽くされたパッケージングと侮れない走行性能によって、世界中の小型車に多大な影響を与えた初代VWゴルフ。その登場から現在まで、すでに30年以上にわたる好セールの陰に、この初代モデルの放ったインパクトがどれだけ貢献しているか知れない。

しかし、ヤナセが発行した初版日本語カタログに踊るキャッチコピーを見ていると、満ちあふれた自信とともに、偉大なる成功車「ビートル」に対するプレッシャーが垣間見える。右の「ご安心ください～」がその一例だ。

今では「小型車の歴史を塗り替えた」とされるほど賞賛されているオリジナル・ゴルフだが、その登場当時は案外、人々の眼に奇異に映っていたのかもしれない。



ご安心ください。VWゴルフの信頼性は、まさしくフォルクスワーゲンの名に恥じません。

このカタログは、当時のVWゴルフの信頼性を、当時のフォルクスワーゲンの名に恥じません。このカタログは、当時のVWゴルフの信頼性を、当時のフォルクスワーゲンの名に恥じません。このカタログは、当時のVWゴルフの信頼性を、当時のフォルクスワーゲンの名に恥じません。



ごらんください。VWゴルフ。明日を予見する今日のくるまで。

このカタログは、当時のVWゴルフの信頼性を、当時のフォルクスワーゲンの名に恥じません。このカタログは、当時のVWゴルフの信頼性を、当時のフォルクスワーゲンの名に恥じません。このカタログは、当時のVWゴルフの信頼性を、当時のフォルクスワーゲンの名に恥じません。



お確かめください。VWゴルフには数々のユニークなメカニズムが詰まっています。

今や世界標準となっているFF 2ボックスもゴルフ登場時は革新的だったわけで、「ユニークなメカニズム」ということになる。「乗る方の身になって考える」この透視図はフォルクスワーゲンの基本的な思想を物語っているのです。

「これからのくるまはどうなるのだろうか。どうあったら良いのか、この問題に対するフォルクスワーゲンの答えの一つ、それが新しく登場したゴルフです」「ゴルフは、大きな機能をコンパクトなボディに集約した、まさに未来を予見するくるま。あなたに、より大きな便利さを提供するこれからのくるまでです」

1975年の日本導入時に用意されたグレードは4ドアのLSのみ。しかしご覧のようにボディカラーは12色も用意されていた。このカタログはCG誌が長期テスト車を購入する際に取り寄せたものらしく、鉛筆で「マイアミブルー」に丸印がしてある。初代ゴルフの長期テストレポートはCG75年8月号から77年11月号まで掲載。



■ VOLKSWAGEN GOLF LS ■ エンジン_直列4気筒 OHC 1470cc 76.5×80.0mm 8.2:1 70ps / 5800rpm 11.4mkg / 3000rpm トランスミッション_4段MT / 3段AT ボディ_3730×1610×1410mm ホールベース_2400mm 車重_800kg / 840kg タイヤ_155SR13 新車時価格_159.5万円 / 171.5万円